

コベルコ建機

適用範囲		モデル名		SK20SR- 5	
		仕様		後方小旋回	
		適用号機		PM10-10609～	
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値	
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度		2340±50	
		ハイアイドルリング	min ⁻¹	1170±50	
		ローアイドルリング	min ⁻¹	(60～90)	
		(冷却水温)	(℃)	(50～60)	
		(作動油温)	(℃)		
	弁すき間	吸気弁 隙間	mm	0.15～0.25	
		排気弁 隙間	mm	0.15～0.25	
		(測定条件)	(℃)	(冷態時)	
	圧縮圧力又は気筒間圧縮圧力差		MPa	3.16	
			kgf/cm ²	32	
	燃料装置	(冷却水温)	(℃)	(60～90)	
		(回転速度)	(rpm)	(—)	
	冷却装置	噴射ノズルの燃料噴射		19.6	
		開始圧力	MPa	200	
走行装置	走行性能	最高速度	ゴム	秒	18.8
			鉄	秒	19.3
		[測定方法・条件]		クローラ5回転／高速モード	
				[図-01]	
	(クローラベルト)	ゴムベルト	張り (たわみ量)	mm	80～90
			[測定方法・条件 (図面番号表示)]	[図-02]	
		鉄シュー	張り (たわみ量)	mm	115～130
			[測定方法・条件 (図面番号表示)]	[図-02]	
		リンクピッチの伸び		mm	101.6
			[測定方法・条件]	〔1リンクピン間距離〕	
		履板取付けボルト締付けトルク		N・m	—
			[測定方法・条件]	kg・m	

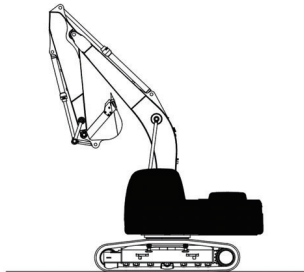
コベルコ建機

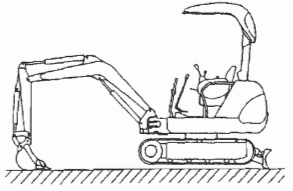
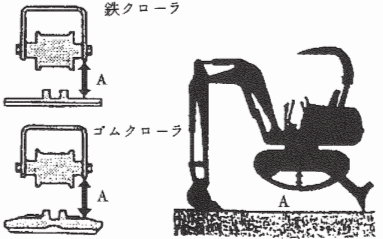
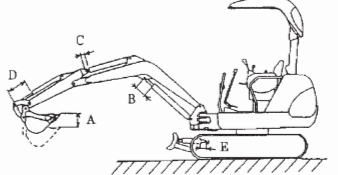
適用範囲		モデル名		SK20SR- 5		
		仕様		後方小旋回		
		適用号機		PM10-10609～		
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値		
作業装置	作業機自然降下	バケット先端位置 (測定時間) (作動油温) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm	150		
			(分) (℃)	(12) (50～60)		
	シリンダ自然伸縮	ブームシリンダ 作業装置姿勢 (図面番号表示) アームシリンダ 作業装置姿勢 (図面番号表示) バケットシリンダ 作業装置姿勢 (図面番号表示) ブレードシリンダ 作業装置姿勢 (図面番号表示) (測定時間) (作動油温)	mm	12		
				[図-03]		
			mm	5		
				[図-03]		
			mm	3		
				[図-03]		
	作業機速度	ブーム上げ 作業装置姿勢 (図面番号表示) アームシリンダ伸ばし 縮め 作業装置姿勢 (図面番号表示) バケットシリンダ伸ばし 縮め 作業装置姿勢 (図面番号表示) 性能測定条件 (荷重・設定モード等)	mm	3		
				[図-03]		
(分) (℃)			[図-03] (50～60)			
sec			2.2±0.4			
油圧装置	油圧回路設定圧力	主回路設定圧力 性能測定条件 (設定モード等)	MPa	23.0		
			kgf/cm2	235		
			[エンジン：ハイアイドル 作動油温：50℃]			
			[無負荷]			
	動力伝達装置	旋回ベアリング取付けボルトの締付け	アウタレース取付けボルトの締付けトルク	N・m kgf・m	—	
			インナレース取付けボルトの締付けトルク	N・m kgf・m	115.0 11.7	
		旋回減速機取付けボルトの締付け	油圧モータ取付けボルトの締付けトルク	N・m kgf・m	115.0 11.7	
			旋回減速機取付けボルトの締付けトルク	N・m kgf・m	—	
備考						

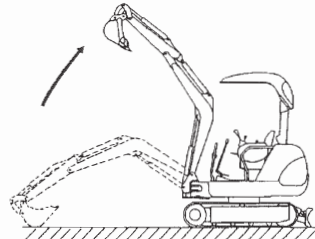
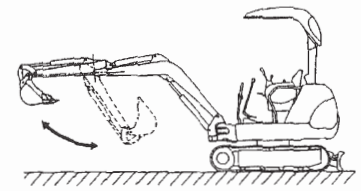
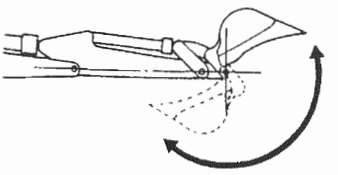
★印：新車基準値を表す。

コベルコ建機

適用範囲		モデル名	SK20SR- 5	
		仕様	後方小旋回	
		適用号機	PM10-10609～	
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値
動力伝達装置	クレーン時の旋回速度	旋回 作業装置姿勢 (図面番号表示)	sec	13.4～14.8 [図-07]

項目	測定方法
旋回速度	・エンジン：ハイアイドル ・作動油温：50℃±5℃ ・作業モード；S又はMモード ・クッションストロークを除く作動時間 ・バケット空荷で平坦地 ・ブームシリンダ/アームシリンダ/バケットシリンダ最伸 方 法 旋回レバーをフルストロークを操作し旋回する。 一回転助走後の二回転に要する時間を測定し、 一回転当りの所要時間を算出する。  図-07

走行速度 (5 回転) ・エンジン 定格回転 ・作動油温 50℃ ～ 60℃ ・測定姿勢 ホウアタッチメントとドーザを使用し、車体を持ち上げる。 ・クローラシュを回転させ、2 回転目より数え、5 回転するまでに要する時間を測定する。(等速回転後の測定)	 図-01
クローラの張り ・ホウアタッチメントとドーザを使用し、車体を持ち上げる。 クローラフレーム中央部におけるフレーム下面とクローラシュ上面とのすきまを測定する。 注) ゴムクローラの場合は、“M” マークの印された継目部を上部中央にして測定すること。	 図-02
シリンダ自然降下量 ブーム、アーム、バケット、ドーザ、バスケット先端 ・エンジン 停止 ・作動油温 50℃ ～ 60℃ ・測定姿勢 ドーザ、アームシリンダは最縮小、バケットシリンダは最伸長とし、ブームフットピンとバケットピンの高さを同一にする。 ・測定姿勢を 10 分間保ち、その間に变化したロッドの長さ、及びバケット先端での変化量を測定する。	 図-03

ブームシリンダ速度 ・エンジン 定格回転 ・作動油温 50℃ ～ 60℃ ・測定姿勢 アームシリンダを最縮小、バケットシリンダは最伸長とする。ドーザを設地させる。 ・バケットの設置位置 (最高上げ位置) から、最高上げ位置 (地上設置位置) までの所要時間を測定する。(クッション作動時間は含まない)	 図-04
アームシリンダ速度 ・エンジン 定格回転 ・作動油温 50℃ ～ 60℃ ・測定姿勢 アームシリンダを最縮小、バケットシリンダは最伸長とし、アームを水平にする。ドーザを設地させる。 ・アームシリンダの最伸長時 (最縮小時) から最縮小時 (最伸長時) までの時間を測定する。	 図-05
バケットシリンダ速度 ・エンジン 定格運転 ・作動油温 50℃ ～ 60℃ ・測定姿勢 アームシリンダを最縮小にしてアームを水平にする。ドーザを設地させる。 ・バケットシリンダの最伸長時 (最縮小時) から最縮小時 (最伸長時) までの時間を測定する。	 図-06